



きらくなたより

発行者 鈴木 忠好
発行月 R4年2月
編集者 坂口 洋一
No. 56

♪春は名のみの風の寒さよ♪

節分、立春・・・

暦の上では春ですが、いつまでも寒さが続き高齢の身には応えませぬ。

今年も小さな声で「鬼は外！福はうち！」。去年の節分もそうでした。この状態がこんなになく長く続く事とは誰が想像したでしょう。

所によつては鬼が大事にされ、家に招き入れて歓待したり、「鬼は外！」と言わなかつたりする所もあるとかで、狭い日本の中でも様々です。

暗いニュースが多い中、オリンピックでの選手たちの活躍が世間を明るくしてくれています。選手層がどんどん若くなっているのと、競技種目が昔とは大きく変わっていることに驚きです。

少しずつですが春の兆しが見え始めてきたこと、最近ではフクチン接種が始まった事なども明るいニュースでしょうか。きらくな会員達が、この寒さの中、グランドゴルフや中国文化の探求に精を出している姿も、明るいニュースの一つに加えておきましょうかね。



高校入試・・・

散歩の途中、下校する中学生たちに会つと、元気がいいとは言えませんが気持ち良い挨拶をしてくれます。受験が迫って大変なんだろうと応援したくなるものです。

私たちにもそんな時代がありました。筆者の当時は9科目。図工、音楽、保健体育、技術家庭まであって大変でした。「婆っば 屁が出る はいどうぞー！」

いきなりなんの事でしょう？有名作曲家の名前を、このように覚えたのです。

バッハ、ヘンデル、ハイドン！高名な作曲家の大先生方も、当時の中学生たちによって「婆っば 屁が出る はいどうぞー！」と大変身！

白線のついた学帽に詰襟の学生服、すり減った下駄をはき、単語カードをめくり、ぶつぶつぶやきながら通学した当時が懐かしく思い出されます。

「婆っば屁が出る・・・」もう少しの辛抱だよ！受験生、がんばれ！



会員達からの春のたより

緑ヶ丘公園、みんなの広場のテーブルとベンチが、老朽化でボロボロに。座れば倒れる状態で危険なので、市役所の「公園緑地課」に改善を依頼したところ、すぐに対応して下さいました。残念ながら新しくはなりませんが、危険な状態からは改善されました。対応が早いのには感心しました。郡山の市役所も大したものですよ。

“見上げたもんだよ屋根やの ふんどし！”
コリヤ 又失礼を！



庭にメジロがきたよ！
秀ちゃん

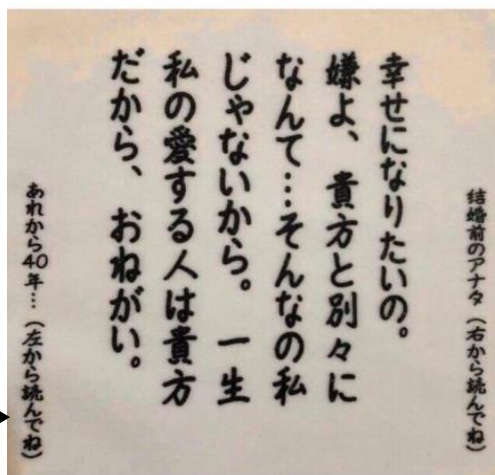


散歩の途中、福寿草
見つけたよ！ 妙ちゃん



修理前のベンチ

思わずクスリッ！
容子ちゃんから



幸せになりたいの。
嫌よ、貴方と別々に
なんて：そんなの私
じゃないから。一生
私の愛する人は貴方
だから、おねがい。

あれから40年... (左から読んでね)

結婚前のアナタ (右から読んでね)



緑公、展望台の登り口
蟠梅が咲いたよ！ 洋ちゃん